

くわしくする言葉①

名前（

ことば

D-1 解

しゅうしよく

修飾語を入れると文の意味がくわしくなるよ。

だから、言いたいことが相手によく伝わるんだ。

一

つぎの文の修飾語は、どんなことをくわしくしていますか。

□

からえらんでアゝオの記号を書きましよう。

（エ） （ア） （イ） （オ） （ウ）

おととい、

わたしは、

おほりの

コイに

たくさん

えさを

やりました。

（イ） （ウ） （オ）

ぼくは、

おみやげに

かまぼこを

たくさん

かいました。

（エ） （ウ） （オ） （イ）

きのう、

ぼくは、

うめを

十キログラム

たるに

つけました。

アどこの イ何に ウ何を

エいつ オどのくらい



二

修飾語をつけ足して、より分かりやすい文にしてみましよう。

例

① わたしは、（小田原おでん）を（食）べました。

② 小田原は、（かまぼこ）が（有名）です。

③ （つめたい）風が、（きゆうに）ふく。

④ 富士山が、（きれいに）見える。



くわしくする言葉②

名前

ことば

D・2 解

一 つぎの文を、主語、述語、修飾語に分けましょう。それぞれの（ ）の中に、主語なら○、述語なら◎、修飾語なら●を書きましょう。

① あした、わたしは、かもめ図書館に 行きます。
（ ● ） （ ○ ） （ ） （ ● ） （ ◎ ） （ ）

② 酒匂川の うつくしい 水鳥は、 コアジサシだ。
（ ● ） （ ） （ ● ） （ ○ ） （ ） （ ◎ ） （ ）

③ 虫たちの 声が、 にぎやかだ。
（ ● ） （ ○ ） （ ） （ ◎ ） （ ）

二 次の修飾語を使って、文を作ってみましょう。

① ころころ ↓ 例 みかんが、さか道をころころと、ころがった。

ころころ ↓ 例 大きないわが、ころころしているので気をつけてください。

② きらきら ↓ 例 新一年生がきらきらと目をかがやかせていた。

きらきら ↓ 例 ライオンが、きらきらとした目でえものを見つめている。

「のつく言葉とつかない言葉は、にているけれど、意味がかわってくるね。どんな文ができたか、発表し合ってみよう。」



こそあど言葉①

名前（

ことば

D-3 解

一

に合う言葉を（ ）の中からえらんで書きましょう。

① （この ・ あの ・ どの ）

② （どれ ・ この ・ その ・ それ ）

二 次の文の□の部分のこそあど言葉が指している部分に——をひきましよう。

① 小田原駅の東口から五百メートル歩くと、□に小田原城があります。

② 向こうの山を見てください。□に一夜城いちやじょうがありました。

③ この道の向こうに小田原漁港ぎよこうがある。□でひと休みしよう。

こそあど言葉②

名前（

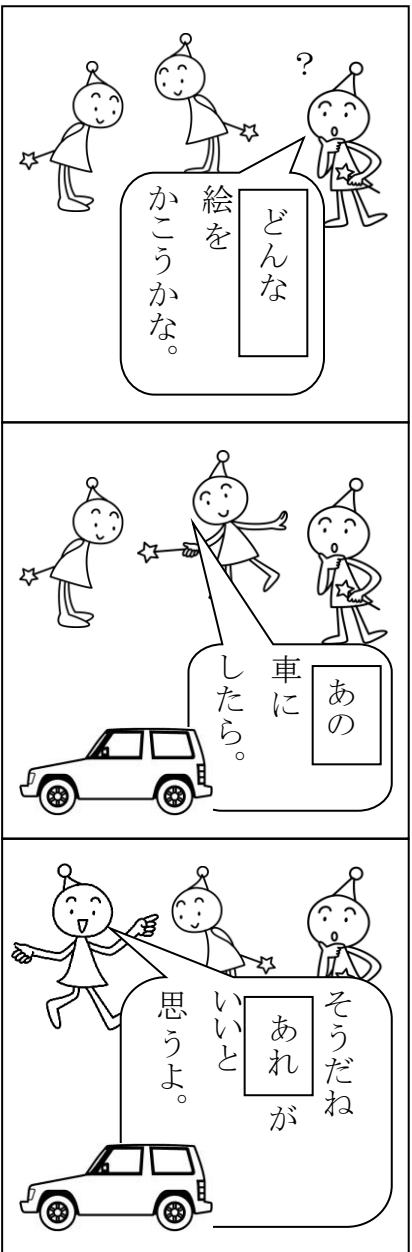
ことば

D-4 解

一

に合う言葉を（ ）の中からえらんで書きましょう。

① （あの・あれ・どんな）



二

次の文の□部分のこそあど言葉が指している部分に――を引きましょう。

① 早川や根府川^{ねぶかわ}の山々に白い花がさいています。

あれは、みかんの花です。

② みなさんは小田原市の市の花をしっていますか。

それは、梅^{うめ}の花です。

③ 小田原の名産品に、かまぼこ^{めいさんひん}梅^{うめ}ぼしがあります。

どちらが好きですか。

④ たまごやきとかまぼこ、これらはぼくの大すきな食べ物だ。

こそあど言葉③

名前（

）
ことば

D-5 解

（ ）にあう言葉を□からえらんで書きましょう。

① 向こうに小田原城じょうが見えます。（あそこ）まで
走りましょう。

② 玄関げんかんに同じくつがならんでいて（どれ）か
わからない。

③ 背せの高い女めの人がやってきました。（あの）人が
ぼくの姉あねです。

④ レストランに入ると店員てんいんさんが「（こちら）へ
どうぞ。」とこえをかけてくれた。

⑤ テーブルの上に箸はしがあります。（それ）を
とってください。

どれ

こちら

あそこ

それ

国語辞典を使おう①

名前

ことば

D-6 解

一

次の二つの言葉は、どちらが先に国語辞典に出ていますか。
国語辞典でたしかめて、先に出ているほうに○をつけましょう。

- | | | |
|---|-----------------------|------------|
| ① | (○) あき | () あさ |
| ② | (○) 正月 | () 小学校 |
| ③ | () パス | (○) バス |
| ④ | (○) 海 | () うめ (梅) |
| ⑤ | (○) 暮 ^く らす | () クラス |

二

次の言葉は、いくつかの意味があります。
国語辞典で調べて書き出してみましょう。

あし (足)

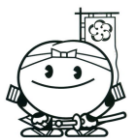


- | | |
|---|--|
| ① | 動物のどうからわかれて出て、あるいたり、体を支えた ^{ささ}
りする部分。 ^{ぶぶん} |
| ② | 足首から下の部分。 |
| ③ | 物の下の部分について、本体をささえる部分。 |
| ④ | あるくこと。走ること。また、その能力。 ^{のうりよく}
など |

国語辞典の言葉のなり方が分かりましたか。
国語辞典は、

- ① 言葉の意味
- ② 漢字での書き表し方
- ③ 言葉の使い方

を知ることができます。



国語辞典を使おう②

名前（

ことば

D-7 解

一 —の言葉は、国語辞典にはどういう形で出ていますか。れいのように（ ）に書きましょう。

れい

文字をていねいに書こう。

（書く）

① 海が青く見えた。

（青い）

② 小田原城の石だんをのぼった。

（のぼる）

③ 酒匂川であゆをつりました。

（つる）

④ 小さい子にはやさしくしよう。

（やさしい）

二 みなさんが黄色いと思うものを国語辞典を使って、その言葉の意味をしらべましょう。

黄色のもの	国語辞典で調べた意味			
例 たんぽぽ				

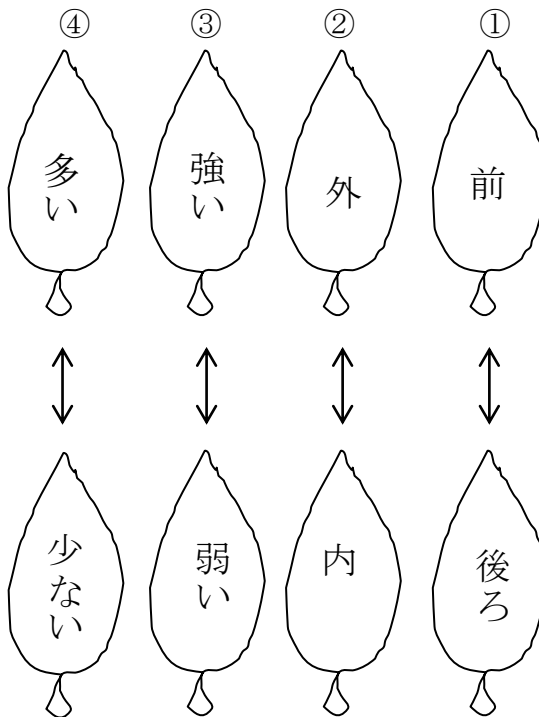
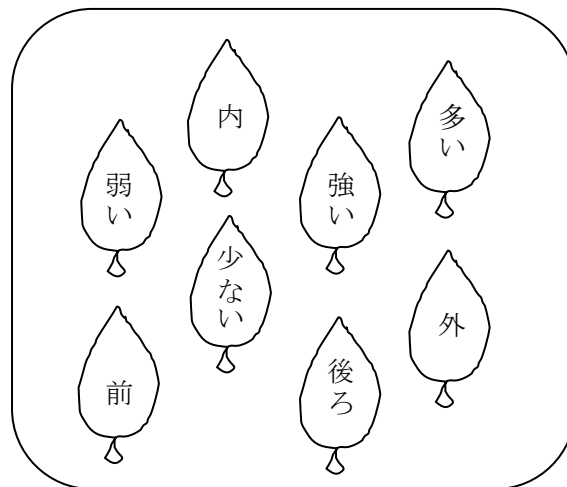
反対の意味の言葉①

名前（ ）

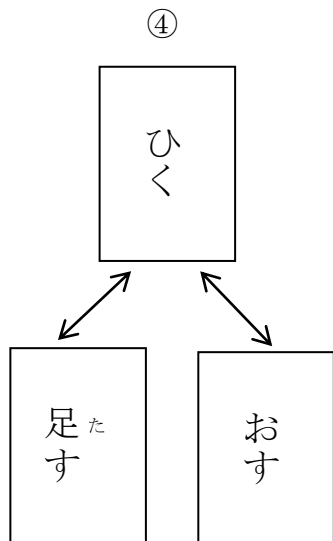
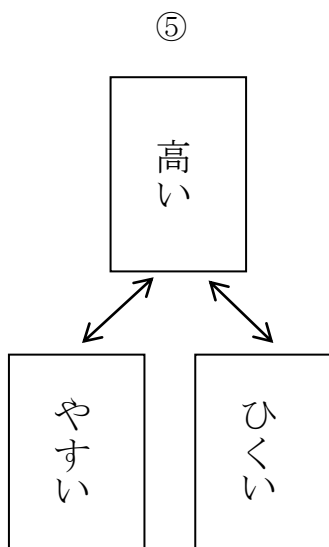
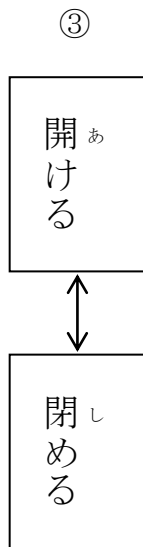
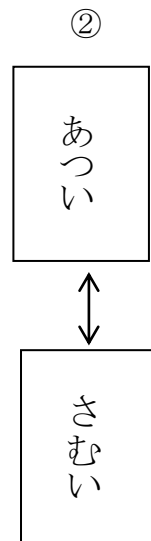
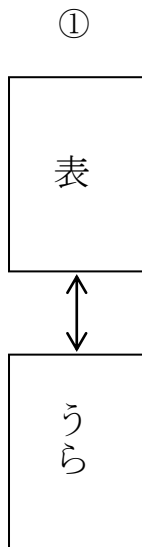
ことば

D-8 解

一 の中から反対の意味を持つ言葉の組み合わせをさがし、①～④にかき
ましよう。



二 反対の言葉を考えて にかきましよう。



反対の意味の言葉が、いくつかあるものもあるね。



反対の意味の言葉②

名前

ことば

D-9 解

反対の意味の言葉を□に書きましょう。

①

上

下

②

勝つ

負ける

③

右

左

④

はい

おそい

反対の意味の言葉になるように、□からえらんで書きましょう。

①

ねる

おきる

②

出
日

人
口

③
近い

遠い

④

あさい

深い

ねる	とお	遠い
食べる		入口
あさい	ちか	近い
重い	おも	おきる
出口	ふか	深い

三 反対の意味の言葉を考え、□にその言葉を書きましょう。

① くらい

あかるい

②

ひろい

せまい

例

③

の
る

おりる

④

くうく

とまる